

統計

◎一九二二年英國鐵鋼產額(單位長噸)

一九二二年合計	鐵	鋼塊並鑄鋼
一九二二年	二、六一六、三〇〇	三、〇七三、四〇〇

一月	二八八、〇〇〇	三二七、五〇〇
二月	三〇〇、一〇〇	四一八、八〇〇
三月	三八九、八〇〇	五四九、四〇〇
四月	三九四、三〇〇	四〇四、二〇〇
五月	四〇七、九〇〇	四六二、三〇〇
六月	三六九、二〇〇	四〇〇、二〇〇
七月	三九九、一〇〇	四七三、一〇〇
八月	四一一、七〇〇	五二〇、八〇〇
九月	四三〇、三〇〇	五五五、九〇〇
十月	四八一、五〇〇	五六五、二〇〇
十一月	四九三、九〇〇	六〇〇、八〇〇
十二月	五三三、七〇〇	五四六、一〇〇
合計	四、八九九、五〇〇	五、八三一、九〇〇
一九二三年	五六七、九〇〇	六二四、三〇〇

(アイアン、アンド、コール、トレード、レビウ本年三月九日號)

◎最近三ヶ年英國銑鐵產額(單位噸)

一九二〇年	一九二一年	一九二二年
ヘマタイト 二、九四一、九〇〇	八四一、九〇〇	一、五六七、一〇〇
鹽基性銑 二、六六一、七〇〇	六九九、九〇〇	一、五七〇、〇〇〇
鑄物用銑 一、四五七、三〇〇	七四七、四〇〇	一、一七三、四〇〇

フオージ	六〇五、〇〇〇	二二九、七〇〇	二七八、二〇〇
合金銑	二四四、〇〇〇	五二、〇〇〇	一九六、九〇〇
其他	一二四、八〇〇	三五、三〇〇	一一三、九〇〇
合計	八、〇三四、七〇〇	二、六一六、三〇〇	四、八九九、五〇〇

(アイアン、アンド、コール、トレード、レビウ本年二月九日號)

◎一九二二年米國鐵鋼業概況

(在シカゴ帝國領事代理吉田丹一郎)

製鐵並製鋼業方面より觀察するときは大正十一年は製産額に於ても亦市價の點に於ても普通の成績なりしと云ふを得べきも唯春季より夏期迄繼續せられたる石炭坑夫同盟罷工は斯界に及ぼしたる影響甚だ少からず爲に一時は前途を悲觀せられたる程なりしも幸にして打撃豫想程に大ならず且罷工終熄と共に鐵鋼に對する需要の増加は後半季に於ける價格騰貴を齎したるも炭價騰貴は製鐵鋼業者を鮮からず苦しめたり。

銑鐵の昨年中に於ける産額は二千六百八十八萬三千八百八十三噸にして前年の千六百五十四萬三千六百八十六噸に比すれば約六割の産額増加なり、尤も大正十年は過去十六年間に於て明治四十一年に次ぐ不況を呈したるものにして從て昨十一年は前年の六割増加と云ふも大正五年中の三千九百四十三萬四千八百八十四噸の産出に比すれば其半にも達せず大體に於て普通の成績と觀ることを得べし過去五年間の毎年の産額次の如し(單位噸)

年次	産額
大正七年	三九、〇五四、六四四
八年	三一、一一五、三六四
九年	三六、九二五、六八七

十一年

一六、五四三、六八六
二六、八八〇、三八三

而して十一年中は年初其製産額思はしからず漸次増加して夏期に至りたるも八月に入りては燃料コークスの缺乏甚しく爲に著しく其製産額を減じ其後燃料の供給を得ると共に再び活況を呈するに至り年末の製産額は近年になき多數を示すに至れり過去二箇年間に於ける月別産額を示せば左の如し。

(單位噸)

月別	大正十年	大正十一年
一月	二、四一六、二九二	一、六四四、九五二
二月	一、九三七、二五七	一、六二九、九九一
三月	一、五九五、五二二	二、〇三五、九二〇
四月	一、一九三、〇四一	二、〇七二、一一四
五月	一、二二一、二二一	二、三〇六、六七九
六月	一、〇六四、八三三	二、三六一、〇二八
七月	八六四、五五五	二、四〇五、三六五
八月	九五四、一九三	一、八一六、一七〇
九月	九八五、五二九	二、〇三三、七二〇
十月	一、二四六、六七六	二、六三七、八四四
十一月	一、四一五、四八一	二、八四九、七〇三
十二月	一、六四九、〇八六	三、〇八六、八九八

前表に明なる通り昨年八月中の産額は著しく減少せるが右は前述の通り燃料缺乏に依るものにして當時コークスは噸當十二弗乃至十四弗、石炭(有煙炭)八、九弗の相場を示し従て生ずる生産費増加は勿論右の相場を以てすら尙且充分の供給を得る能はざりしものなり然るに罷業終熄と共に石炭コークス共供給増加し年末にはコークス六弗五十仙、石炭四弗に低下し従て生産の増加を齎したり。

統計

次に鐵鋼の完製品中鍍板針金薄板類の平均價格に付て見るに大正三年には二十八弗六十八仙に過ぎざりしもの大正九年には最高八十五弗三仙、平均七十三弗五仙に及び大正十年には最低四十六弗五十五仙、平均五十弗六十八仙に迄下り昨一年に於ては十二月一日現在の平均四十八弗七十八仙なりき最近十箇年の年別平均價格左の如し。

一九一三年	三十三弗三十六仙
一九一四年	二十八弗六十八仙
一九一五年	三十弗六十八仙
一九一六年	五十三弗四十二仙
一九一七年	八十三弗七十六仙
一九一八年	七十弗八十四仙
一九一九年	六十二弗三十仙
一九二〇年	七十三弗五十仙
一九二一年	五十弗六十八仙
一九二二年	四十八弗七十八仙

(十二月一日現在)

尙各種製品のフィラデルフィアに於ける平均價格を示せば左の如し。(單位弗)

年 月	銑鐵	小鋼片	鋼 鍍	鋼槽板	葉 鋼
大正九年六月	四五・九六	四五・〇〇	二・三五	二・六五	四・三五
同 年十二月	三四・九六	四五・〇〇	二・三五	二・六五	四・三五
同 十年六月	二五・九六	三七・〇〇	一・七五	一・八五	三・二五
同 年十二月	二一・九六	三〇・〇〇	一・五〇	一・六〇	三・〇〇
同 十一年六月	二六・七七	三五・〇〇	一・六〇	一・六〇	三・一五
同 年十二月	二九・二七	三六・五〇	二・〇〇	二・〇〇	三・三五

次に米國商務省の發表に據れば昨年中に於ける鑄鋼の賣上高は前年の約三倍に達し大正九年に比し稍々良好なる結果を示せり即ち大正十年に於ては總賣上僅に二十八萬七千六百七

十四噸なりしもの昨年は七十九萬五千五十九噸に達し大正九年の七十九萬三千三百五噸に比し多きこと千七百五十四噸なり大正八年以降の四箇年間の賣上中大正九年三月の一箇月内に十一萬二百八十二噸即ち販賣能力の十一割三分の成績を擧げたるを最上とし其後漸次減少し大正十年七月の一萬五千七百八十五噸即ち販賣能力の一割六分三厘は最少く昨大正十一年に入りては年初不振なりしも漸く賣上高を増加し九月には販賣能力の十割一分一厘即ち千九百萬七千九百十九噸に達し大正九年三月以來の記録を示せり。

年次	賣上噸數	販賣能力百分率
大正九年	七九三、三〇五	六八、二
同 十年	二八七、六七四	二四、七
同 十一年	七九五、〇五九	六八、四

◎一九二二年米國鋼鐵產額(單位噸)

月	平爐	轉爐	其他	計
一九二二年 一月	一、二六〇、〇九	三、一八三	八三	一、五九三、四〇二
二月	一、三九八、八三	三、四八、七	六六	一、七四七、〇三
三月	一、九七、七〇	四、五、九六	七五	二、三七、七七一
四月	一、九七、四六	四、四、九六	一〇九	二、四四、三三
五月	二、二四、七四	四、四、八三	一四七	二、七二、〇一
六月	二、四七、七〇	四、七、八五	二九八	二、九八、三四七
七月	二、〇〇、三二	四、四、〇七	二四八	二、四八、七七一
八月	一、〇七、〇〇	四、四、〇七	二八三	一、五二、一三
九月	一、二一、四七	四、〇、三七	二五五	一、六二、二九七
一〇月	一、三三、七〇	三、一、〇〇	二一九	一、六七、七七一
十一月	一、三六、〇三	三、三、九四	二四七	一、七二、九七
十二月	一、四一、一四	三、三、二四	二七二	一、七七、六八〇

合計 三、六四、四四
一九二二年 三、六九、六二

四三〇
二、二六、四四
三、六六
一、六八、九四
(アイアン、エージ本年一月十八日號)

◎自一九一八年米國銑鐵產額(單位長噸)

年	鹽基性銑	ベセマー	鑄物用銑	マリアップル	フォージ	其他	合計
一九一八年	一、八六、四七四	一、三〇、四九六	五、四、五二〇	一、二七、九四	五、九、九三	七、六、三九八	三、九〇、四六四
一九一九年	一、四四、九四三	九、九七、五九四	四、九、六七九	一、〇九、〇四九	二、七、二六	四、八、三〇六	三、〇一、五三四
一九二〇年	一、六七、七三三	一、三〇、六二四	五、九、七六二	一、三〇、九五	三、八、〇四八	五、九、四〇〇	三、九二、五九七
一九二一年	一、七五、〇七	一、五、五二五	二、五、八一三	四、七、四〇〇	一、二、七四八	二、〇、六六	一、六六、八二六
一九二二年	一、三、八四、三六	七、八、三三三	三、九、六四三	一、〇、五、四九五	三、四、三三〇	三、三、一九	二、七三、九四〇

(アイアン、エージ本年三月二十二日號)

◎本年米國鐵鋼產額

銑鐵

本年三月米國に於ける銑鐵の產額は、三、五二一、九〇二長噸にして米國製鐵史上のレコードを破れる最大產額なりとす、一九一六年十月に於ては三、五〇八、一八〇噸にして從來最大產額なるものなりき。之等は共に三十一日の月に於けるものなり。平均一日の產額に於て最高レコードは一九一八年九月の一一三、七七四噸にして本年三月は一一三、六一〇噸にて第二位のレコードに屬せり。本年一月以降の銑鐵產額左の如し。(單位長噸)

月	一九二二年	一九二三年
一月	一、六四五、八〇四	三、二二八、二二六
二月	一、六三〇、一八〇	二、九九三、九一八
三月	二、〇三五、九〇八	三、五二一、九〇二

銅 鐵

(アイアン、トレード、レビウ本年四月五日號)

鋼鐵の産額も本年三月に於ては非常なる増額を示し實に三、四〇二、〇〇七長噸にして、最近の最大レコードたる一九一八年十月に於ける三、三五二、一九六噸を凌駕せり。其産額左の如し。(單位長噸)

	平 爐	轉 爐	其 他	合 計
一月	二、五七一、四九一	六七七、四八六	二、七一七	三、二五一、六九四
三月	二、二九〇、四一八	六二五、八三八	二、七六一	二、九一九、〇一七
三月	二、六五六、一三四	七四二、五六四	三、三〇九	三、四〇二、〇〇七

(アイアン、エージ、本年四月十二日號)

◎最近三ヶ年佛國鐵鋼産額並に

輸出入額(單位噸)

年	銑鐵産額		鋼鐵産額	
	同輸入額	同輸出額	同輸入額	同輸出額
一九二〇年	三、二五〇、〇〇〇	一、一〇〇、〇〇〇	二、八七、〇〇〇	三、〇五〇、〇〇〇
一九二一年	三、四〇〇、〇〇〇	三、五〇〇、〇〇〇	六、五三、〇〇〇	三、一〇二、〇〇〇
一九二二年	五、一二八、六〇八	五七、〇〇〇	六、五〇、〇〇〇	四、四七一、二七五
一九二〇年	三、〇五〇、〇〇〇	四、二九、〇〇〇	三、四四、〇〇〇	三、〇五〇、〇〇〇
一九二一年	三、一〇二、〇〇〇	一、六一、〇〇〇	六、〇六、〇〇〇	三、一〇二、〇〇〇
一九二二年	四、四七一、二七五	三、一五、〇〇〇	六、一〇、〇〇〇	四、四七一、二七五

(アイアン、トレード、レビウ、本年二月二日號)

◎本年佛國鐵鋼産額並に輸出

入額(單位噸)

鐵鋼産額

統 計

年	銑鐵輸入額	鋼塊並鑄鋼輸出額
一九一三年各月平均	四二七、〇〇〇	三八五、〇〇〇
一九二二年 //	四二七、五五〇	三七二、六〇六
一九二三年一月	四八六、二一〇	四〇七、七三一
同 二月	三〇五、五二六	二八九、七八七

◎本年白耳義鐵鋼産額(單位噸)

年	銑鐵	鐵	鋼塊並鑄鋼
一九一三年各月平均	二〇三、八〇〇	二〇二、三〇〇	二〇三、八〇〇
一九二二年 //	一三四、一三五	一二八、〇九八	一三四、一三五
一九二三年一月	一六五、二一〇	一七二、五六〇	一六五、二一〇
同 二月	一五一、三四〇	一五七、一四〇	一五一、三四〇

(アイアン、トレード、レビウ、四月廿六日號)

◎自一九一三年獨逸鐵鋼産額(單位噸)

年	銑鐵	鐵	鋼塊並鑄鋼
一九一三年	一九〇、〇〇〇、〇〇〇	一八、六三一、〇〇〇	一九〇、〇〇〇、〇〇〇
一九一七年	一二、九三一、〇〇〇	一六、三二二、〇〇〇	一二、九三一、〇〇〇
一九一八年	一一、六七二、〇〇〇	一四、七三三、〇〇〇	一一、六七二、〇〇〇
一九一九年	六、一九二、〇〇〇	七、六四四、〇〇〇	六、一九二、〇〇〇
一九二〇年	五、五六八、〇〇〇	六、六二四、〇〇〇	五、五六八、〇〇〇
一九二一年	六、〇九六、〇〇〇	八、七〇〇、〇〇〇	六、〇九六、〇〇〇
一九二二年	六、五〇〇、〇〇〇	九、〇〇〇、〇〇〇	六、五〇〇、〇〇〇

(アイアン、トレード、レビウ本年二月一日號)

◎輸出入貨物品別表

(大藏省發行の大正十二年二月外國貿易月表中鐵及鋼に關するもの左の如し)

第一 輸出貨物品別表

内國産品名	大正十二年二月		本年一月以降累計	
	數量	價格(圓)	數量	價格(圓)
塊炭(噸)	101,488	1,450,051	330,331	3,109,611
及錠(擔)	2,336	11,500	3,493	23,336
條、竿及板(擔)	8,933	110,107	13,660	178,797
線	2,933	7,588	6,671	17,497
線	4,744	14,055	6,011	18,970
筒及管	2,889	26,288	3,888	37,033
屑及鐵器	2,849	48,586	2,407	91,191
鐵	1	49,631	1	80,373
鐵	1	46,838	1	80,065
鐵	1	47,401	1	97,255
鐵	1	22,633	1	17,788
鐵	1	44,433	1	81,923
鐵	1	36,988	1	58,340
鐵	1	25,800	1	25,800
鐵	1	7,779	1	13,145

第二 輸入貨物品別表

外國産品名	大正十二年二月		本年一月以降累計	
	數量	價格(圓)	數量	價格(圓)
油(瓦)	3,466	1,075,483	4,966	2,048,848
炭(噸)	13,803	1,848,077	27,635	3,963,266

鐵	コ	1,955	3,614	5,733	1,610,433
鐵塊	鐵(擔)	1,247,399	6,613,333	2,229,633	12,588,333
鐵	鐵(擔)	7,382	7,867	7,595	7,306,5
鐵	鐵(擔)	1,997	2,809	3,829	2,297,71
鐵	鐵(擔)	2,839,988	1,637,499	4,933,335	2,881,133
鐵	鐵(擔)	3,072	2,705,933	7,573	5,568,66
鐵	鐵(擔)	3,385,588	2,173,933	3,909,999	4,497,733
鐵	鐵(擔)	3,635	5,506,666	3,862	5,890,5
鐵	鐵(擔)	3,488	4,928,888	7,680	1,097,557
鐵	鐵(擔)	6,433	1,343,7	2,833	3,835,4
鐵	鐵(擔)	3,263,3	2,587,33	3,750	4,206,69
鐵	鐵(擔)	1,037	4,035,3	1,550	5,598,83
鐵	鐵(擔)	6,501	8,079,4	1,958,8	2,248,93
鐵	鐵(擔)	7,35	2,818,4	1,919	7,406,1
鐵	鐵(擔)	4,455	5,512,71	7,538,2	8,871,35
鐵	鐵(擔)	4,928,4	1,081,28	8,768,8	1,947,76
鐵	鐵(擔)	6,337	7,310,0	12,345	1,374,85
鐵	鐵(擔)	2,757,011	1,011,82	5,699,5	2,037,18
鐵	鐵(擔)	1,33,566	7,007,47	3,933,33	2,035,271
鐵	鐵(擔)	3,556,900	3,616,06	3,119,361	5,018,86
鐵	鐵(擔)	4,370	1,00,97	5,635	1,449,93
鐵	鐵(擔)	6,482,3	3,421,8	1,539,64	5,423,35
鐵	鐵(擔)	8,058	7,59,488	1,713,62	1,616,11
鐵	鐵(擔)	1	2,669,02	1	6,410,13
鐵	鐵(擔)	1	6,33,57	1	1,464,65
鐵	鐵(擔)	1	1,173,928	1	2,038,04
鐵	鐵(擔)	92	5,632,89	1,74	1,066,66
鐵	鐵(擔)	7,46	3,491,59	2	7,909,97
鐵	鐵(擔)	1	1,600,000	2	7,300,000
鐵	鐵(擔)	1	2,867,52	1	4,088,54
鐵	鐵(擔)	7,777,0	8,90,48	1,010,73	3,316,67

◎本邦重要礦物產出狀況

(大正十二年二月中農商務省鑛山局調)

本邦重要礦物總產額

鑛種	大正十二年二月		大正十一年	
	一月以降累計	一月以降累計	一月以降累計	一月以降累計
金 (匁)	一五七、五四二	三三四、一二九	三一五、六〇一	
銀 (匁)	二、一四七、一四五	五、〇六三、〇一四	五、〇一〇、一九三	
銅 (斤)	七、二四六、〇一四	一四、四九七、五四五	一二、六〇七、八六〇	
鐵 (佛噸)	四、九五五	九、六〇一	四、八六六	
石炭 (佛噸)	二、〇八三、六九〇	四、二九六、七八三	三、九四四、一八三	
石油 (石)	一一〇、八五八	二三五、四五三	二六七、三七八	
硫黃 (佛噸)	二、〇三五	四、一四七	四、三二四	

銅

鑛山名	所在地	本年一月以降累計		前年同期累計と比較増減	
		二月分	本年一月以降累計	前年同期累計	と比較増減
尾 子	栃木	一、七八九、四八五	三、三九二、三四四	四〇五、二三四	
別 子	愛媛	八五〇、〇八二	一、九七一、一八六	△ 七七二、二一〇	
小 坂	秋田	八一九、〇四六	一、六四六、五一〇	△ 三四八、四八五	
日 立	茨城	一、〇九五、九九八	二、一六五、二〇七	△ 六九七、四六〇	
佐賀ノ關	大分	九四二、九六六	一、八三六、九八七	△ 八五二、五二八	
直 島	香川	五七二、五六二	一、一一九、〇二五	△ 一八〇、〇五〇	
尾 去澤	秋田	二八七、八八七	五八四、七五九	△ 八〇、九七一	
尾 小屋	石川	二八九、七二九	五〇五、七三八	△ 六八、二一三	
荒 川	秋田	一五八、六〇三	二九一、一七一	△ 一五、八一五	
安部城	青森	九三、八二五	一三七、六一三	△ 八〇、二二八	
阿 仁	秋田	一一、六六三	一六六、三六一	△ 四九、四四九	

石炭

鑛山名	所在地	本年一月以降累計		前年同期累計と比較増減	
		二月分	本年一月以降累計	前年同期累計	と比較増減
釜 石	岩手	一、八二四	五、四〇一	△ 五、四〇一	
銚 子	銚子	三、一三一	四、二〇〇	△ 六六五	

炭坑名	所在地	本年一月以降累計		前年同期累計と比較増減	
		二月分	本年一月以降累計	前年同期累計	と比較増減
三 池	福 岡	一三五、一八〇	二九四、九九八	△ 二二、九六四	
大 之 浦	福 岡	一〇一、六七六	一八八、七四八	△ 三一、六三九	
二 瀬	福 岡	六八、一七六	一五九、〇七五	△ 二、二七二	
三 井 田 川	福 岡	八二、五〇二	一六一、三七七	△ 二、〇四〇	
夕 張	北 海 道	八七、九七〇	一六〇、三七〇	△ 一三、一八〇	
飯 塚	福 岡	四四、六三八	九九、〇五六	△ 一〇、〇六八	
三 菱 美 唄	北 海 道	五二、二〇〇	一〇二、七〇〇	△ 三六、二五〇	
内 郷	福 岡	五三、〇三四	一一二、六七二	△ 四三、〇五八	
杵 島	佐 賀	三五、六八六	七三、八一二	△ 一七、七一一	
鯉 田	福 岡	四〇、〇七〇	七四、八〇六	△ 六、二〇六	
三 井 山 野	福 岡	四〇、三二一	八四、一一三	△ 一五、八八五	
新 夕 張	北 海 道	三五、九七〇	六七、二九七	△ 一〇、七三五	
沖 ノ 山	山 口	三五、七五三	七五、三二五	△ 一三、九八二	
明 治	福 岡	三五、〇二一	六六、〇九八	△ 五、四二一	
新 原 海 軍	福 岡	三六、一八二	六六、九五〇	△ 三、三五三	
豐 國	福 岡	三四、一一七	六六、一八二	△ 三、一六六	
松 島	長 崎	二七、八九七	五五、四八三	△ 三、七八四	
新 入	福 岡	三二、三七二	六二、一四三	△ 二、八一七	
崎 戸	長 崎	二九、六四〇	六一、〇四七	△ 三、〇九六	
木 屋 瀨	福 岡	二七、六四二	六四、六三九	△ 一四、三七一	
新 手	福 岡	二二、〇三四	六〇、四七八	△ 五、二六七	

忠	隈	福	岡	二八、七九三	三九、四八六	一〇、八〇四	
好	間	福	岡	二九、〇二二	六八、八六四	六、八五三	
大	峰	福	岡	二一、五八八	四九、八四三	六、三〇六	
相	知	佐	賀	二七、九六五	五三、〇〇二	二五	
高	島	長	崎	二四、五三八	五三、一五二	二、三〇四	
空	知	北	海道	二七、七二〇	四八、四三一	一七、四三三	
大	辻	福	岡	二六、七七六	四六、四七九	七七四	
目	尾	福	岡	一九、八三七	三九、八六八	二七、九七〇	
岩	屋	佐	賀	一九、五三二	三八、二一三	二四七	
入	山	福	島	二三、〇三九	四五、七三六	四、二七六	
千	代	田	茨	一七、四四二	四〇、九六五	二、九九五	
峰	地	福	岡	一四、二五〇	三一、六四五	三〇、一九六	
芳	雄	福	岡	一七、二三三	三七、七二六	二、四二五	
三	井	砂	川	二〇、七二八	四三、七四七	一七、六五二	
芳	谷	佐	賀	一九、七六七	三八、八五八	一、八四八	
平	山	福	岡	一七、一七九	三四、五八九	一一〇	
幌	内	北	海道	一八、三四五	三二、七一三	三、九二一	
茨	城	無	煙	一三、六六二	三三、九一三	三、一三二	
方	城	福	岡	一六、三二八	三三、二二六	七、〇六一	
大	峰	三	坑	一五、五〇九	三五、四一七	一一、〇〇四	
金	田	福	岡	一五、三六〇	二八、四八一	五、六九七	
上	山	田	福	岡	一四、四二三	三〇、〇五〇	
西	沖	ノ	山	口	一七、九九四	三八、八六一	
東	見	初	山	口	一六、〇一五	三四、一四〇	
奔	別	北	海道	一三、二五三	二三、九〇四	四、七六三	
佐	賀	佐	賀	一四、八九四	三〇、八一〇	一四九	
福	岡	二	坑	福	岡	一三、四八七	二五、七二九
真	谷	地	北	海道	一六、〇八一	二八、四二七	
姪	濱	福	岡	一七、〇五三	三一、六五四	七、一〇三	
第	二	沖	ノ	山	口	一五、一七八	三二、六九一
小	野	田	福	島	一四、九五九	二八、三三五	六、一〇七

統 計

石 油

茂	尻	北	海道	一三、四八五	二六、六三〇	五、七三六				
綱	分	福	岡	一四、一四二	二七、三八一	一、七九三				
高	尾	二	坑	福	岡	一六、七八六	三五、九六七			
御	德	福	岡	一二、四二五	二八、一八八	五、九一五				
高	江	福	岡	一四、一四八	二八、七八〇	六、九四一				
漆	生	福	岡	八、七七五	二一、七七四	一、四九九				
幾	春	別	北	海道	一〇、九〇一	一九、六二六				
登	川	北	海道	九、九七九	一八、二四五	一、六一五				
製	鐵	所	稻	築	坑	福	岡	一〇、一四五	二四、七〇八	四、〇九八
大	日	本	茨	城	九、五〇一	二三、〇五三	四、〇二〇			
糟	屋	福	岡	八、二三四	一九、一五〇	三、五五六				
下	山	田	福	岡	八、六〇二	一八、四八〇	二、八〇九			
宮	尾	福	岡	六、〇八七	一五、三一二	五、一七九				
小	田	第	二	坑	福	岡	一一、五〇五	二三、〇三七	七、八〇九	
上	歌	志	内	北	海道	九、一五二	一七、七四六	三、九八八		
大	峰	分	坑	福	岡	六、四六一	一五、一六八	八		
福	島	福	島	八、九一七	一九、二七九	五、〇九五				
三	菱	芹	別	北	海道	一一、八四二	二三、六九五	一〇、九二一		
大	隈	福	岡	六、三四二	一四、〇四三	一、六〇二				

油 田 別 所 在 地

新	津	新	潟	三、一六九五	六六、九七〇	三、一四四
西	山	新	潟	一四、〇四六	二九、八一九	二、二〇〇
東	山	新	潟	七、三六七	一五、三六四	一、二六三
豐	川	秋	田	二一、二八九	四六、一五二	一三、七三三
黑	川	秋	田	一四、五一七	三〇、五一〇	六、五三六
由	利	秋	田	七、八四八	一七、〇三九	四、六五八

二 月 分

本 年 一 月 以 降 累 計

前 年 同 期 累 計 比 較 增 減